



一般社団法人 兵庫県理学療法士会

2020
November
No.187

士会だより



特集：地域×リハビリテーション×COVID-19

Index

- ・ 巻頭言 2
- ・ 特集：地域×リハビリテーション×COVID-19 3・4・5・6
- ・ 各部だより 7
- ・ INFORMATION 8・9
- ・ 兵庫県で活躍する理学療法士～数珠繋ぎ～ 10



コロナによる影響の大きさ

副会長 間瀬 教史(甲南女子大学)

協会より第2回コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う職場への影響調査報告がなされています。理学療法部門の収支は約70%の施設で減少したという結果が出ています。人事計画については、本年度増員する・した40.6%、現状維持49.9%、減員する・した7.1%となっています。給与、賞与への影響については影響なし59%、残業代が減少した10%、賞与が減少した22%となっています。病床稼働率は、昨年と比べ4-5月は10%以上の減少が約40%、6-7月が約35%の施設で見られています。外来(通所)の影響はより顕著で4-5月で約55%減少、6-7月で約40%減少したとなっています。

また、新型コロナウイルス対策本部理学療法業務担当、働き方作業部会報告書では、問題点として以下の内容が報告されています。

- 1 会員の感染症に伴う不安。
- 2 妊婦会員の感染リスクの高い現場での就労。
- 3 子育て会員の臨時休校、介護中の会員の介護サービス中止による苦労。
- 4 新人会員の感染症対策、新人研修、自己研鑽等に対する不安。
- 5 管理職の会員の多様な苦労、情報交換の場の不足。

そのほか、教育現場では臨床実習への影響は大きく95%前後の養成校で大きな影響が出ていると報告されています。これらの内容は、4-6月に比べれば少し軽減されてきているとはいえ依然として大きな問題であることには変わりありません。

兵庫県理学療法士会でもコロナへの対策として、新型コロナウイルス感染防止対策の対応事例(5月)、新型コロナウイルス緊急アンケート(5月)、SNS上での情報共有・意見交換等緊急COVID-19対策研修会(8月)などを行ってまいりました。各種臨床系の研修会、新人発表会、臨床実習指導者研修会も徐々に開催予定が発表されてきております。今後さらにそれら対策を推進する必要があります。研修機能を感染対策下で適切に回復させること、管理職会員への情報提供の継続・増強がその対策の主なものとなると考えています。

会長 行動録

8/11	兵庫県理学療法士連盟総会(士会事務所・WEB会議)	9/8	職能部・連盟合同部会(WEB会議)
8/13	県士会感染対策委員会意見交換会(士会事務所・WEB会議)	9/18	県PT士会理事会(士会事務所・WEB会議)
8/17	小川参議院議員ヒアリング打ち合わせ (士会事務所・WEB会議)	9/24	日本医療マネジメント学会兵庫支部世話人会(WEB会議)
8/20	県士会感染対策委員会感染予防研修会 (士会事務所・WEB会議)	9/28	脳性まひ等肢体不自由児者研修会準備委員会(WEB会議)
8/21	県PT士会理事会(士会事務所・WEB会議)	10/4	第22回兵庫県総合リハビリテーション・ケア研究大会 (兵庫県民会館)
8/25	小川参議院議員ヒアリング(士会事務所・WEB会議)	10/9	都道府県理学療法士連盟会長会(神奈川県連盟会長の代理出席) (WEB会議)
9/2	兵庫県リハ3士会協議会第3回幹事会(WEB会議)	10/11	日本PT協会組織運営委員会、日本PT協会臨時総会 (ベルサール汐留・WEB会議)
9/3	自民党兵庫県連との意見交換会(兵庫県庁)		

地域×リハビリテーション× COVID-19



兵庫県社会福祉事業団総合
リハビリテーションセンター
兵庫県地域リハビリテーション
支援センター
安尾 仁志 氏

これから我が国は、高齢者人口の増加と働き手世代の急激な減少の時代に突入していきます。その中で、地域による格差がより一層広がることが予測され、医療・介護・福祉・住まい・介護予防が一体となった包括的な地域づくりが求められています。また、現在、現時点においても、今年初めより全世界に広がったCOVID-19の影響により虚弱高齢者を中心とした健康への影響が強く懸念され、予防分野への医療・介護の専門職へのニーズが益々増えてくることが考えられます。

兵庫県では、これまで兵庫県リハビリテーション支援体制として、各圏域で様々な地域リハビリテーションの推進に取り組んできており、最近ではその一環で介護予防分野への支援体制づくりを行ってきました。今回、改めてこの兵庫県における地域リハビリテーション支援体制について紹介するとともに、介護予防分野におけるCOVID-19の県内の影響及び課題について述べていきます。

兵庫県における地域リハビリテーション支援体制について

兵庫県では、県内の医療・介護分野におけるリハビリテーションのニーズに対応するために、介護保険開始当初の平成13年に兵庫県リハビリテーション連携指針を策定しました。そして、この指針に基づいて、地域リハビリテーションの推進拠点として、兵庫県地域リハビリテーション支援センター（以下、全県リハ）及び、2次保健医療圏域ごとに9か所、圏域リハビリテーション支援センター（以下、圏域リハ）を設置しました。また、平成25年より同じく2次保健医療圏域毎にある健康福祉事務所とのパートナーシップ体制を強化し、地域リハビリテーションの推進に取り組んでいます。

全県リハ及び圏域リハの役割は、県内の地域リハビリテーションの普及、啓発、資源の把握及びネットワークづくり、リハビリテーション支援の技術向上のための研修会の開催、相談支援です。ここで言う地域リハビリテーションとは、日本リハビリテーション病院施設協会が定義している「障害のある子供や成人・高齢者とその家族が、住み慣れたところで、一生安全に、その人らしくいきいきとした生活ができるよう、保健・医療・福祉・介護及び地域住民を含め生活にかかわるあらゆる人々や機関・組織がリハビリテ-

ーションの立場から協力し合って行なう活動のすべて」のことを言い、単に、在宅での訪問リハサービスや高齢者の介護予防の支援のみを指すものではありません。地域のリハビリテーション資源がない障害者施設や高齢者施設、特別支援学校、住民団体からリハビリテーションに関する相談を受け現地で支援を行うことや、介護職等への介護技術研修、地域リハビリテーションの啓発に係る研修などを開催してきました。

そのような中、国は地域包括ケアシステムの構築に向けた市町村毎の地域支援事業の展開を進めて



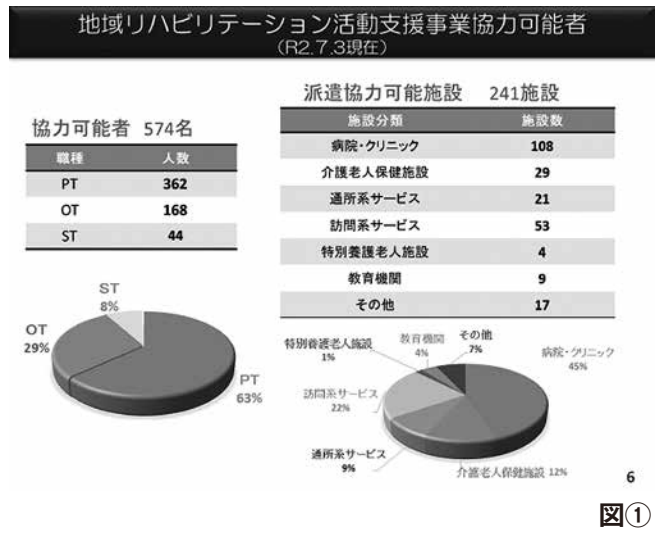
行く中で、平成25年に新たな総合事業の中に「地域リハビリテーション活動支援事業」を打ち出し、リハビリテーション専門職等が地域の現場で自立支援に資する取り組みを行うことで介護予防機能を強化することを目的とした事業が始まりました。そこで、今

後、各市町村単位で高まるリハニーズに対応するために、兵庫県地域リハビリテーション支援体制としても、従来の活動に加えて、圏域内のリハビリテーション専門職の仲間づくり、ネットワークづくりに重点を置いた取り組みを開始しました。

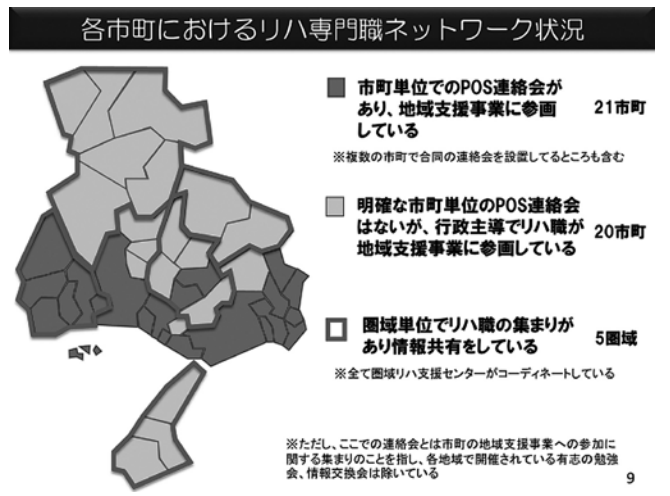
最近の地域リハビリテーション支援体制としての取り組み

この支援体制がスタートした平成13年当時に比べ、近年は県内のリハビリテーション専門職の全体数も増加し、生活期における介護保険サービスの事業所も増えています。一方で、これまで介護予防をはじめとする行政が行う事業に関わった経験のあるリハビリテーション専門職は少なく、必要なスキルを身に着けた人材を地域につなげていく働きかけと仕組みが必要でした。そのため、まず、兵庫県リハ3士会合同地域支援推進協議会が行う人材育成事業と連携をし、地域に出るための知識を身に着け意欲のある人材に対して、兵庫県と全県リハから所属に対して派遣協力依頼を行い、所属長の下承を得たりリハビリテーション専門職のリスト(地域リハ活動支援事業派遣協力者名簿:図①)を作成しました。これを、県下41市町と共有することで地域に参画できるリハビリテーション専門職を見える化する取り組みを行いました。

同時に、圏域リハは、圏域内の各市町の地域支援事業担当者とながり、各自治体の方向性や事業内容についての情報を得て、市町の地域支援事業の把握をするとともに、リハビリテーション専門職に対するニーズの聞き取りを行い、圏域リハと行政担当者の顔の見える関係づくりを行いました。その上で、必要な市町には、地域で活動したいリハビリテーション専門職と行政とが顔合わせする場づくりを設定し、また、近隣の市町担当者との情報交換の場としてネットワーク会議等を開催するなど、各市町の地域リハビ



図①



図②

10学部7研究科、総合大学で豊かな人間性を育む

総合リハビリテーション学部

理学療法学科

- 理学療法士国家試験受験資格
- 健康運動実践指導者認定試験受験資格*

作業療法学科

- 作業療法士国家試験受験資格

社会リハビリテーション学科

- 社会福祉士国家試験受験資格
- 精神保健福祉士国家試験受験資格*

総合リハビリテーション学研究科

(大学院) 修士課程・博士後期課程

※指定科目の単位修得者が取得できる資格

神戸学院大学 〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518 有瀬キャンパス TEL (078) 974-1551 (代表)

医療で社会をつなぐ
「医療社会人」を目指す

学校法人 平成医療学園
宝塚医療大学 TUMH TAKARAZUKA UNIVERSITY OF MEDICAL AND HEALTH CARE

0120-00-1239
〒666-0162 兵庫県宝塚市花屋敷緑ヶ丘1

宝塚医療大 検索
http://www.tumh.ac.jp/

■理学療法学科 ■柔道整復学科 ■鍼灸学科

リテーション活動支援事業が効果的・効率的に進むようにコーディネートを行ってきました。

そのような流れから、いくつかの市町で、地域支援事業に関わるPT、OT、ST同士の横のつながりの必要性から、市町単位でのリハネットワークが徐々に構築され始めました(図②)。市町単位でのリハネットワークが形成されると、行政側も相談する窓口が明確

になり、新規の事業について計画段階から意見交換を行う関係性に進む地域や、一つの事業から様々な事業へ展開が広がっている地域が出始めています。現在、圏域リハはこれら市町単位のリハネットワークが活動しやすいように、行政機関との間に立って後方支援を行う役割を担っています。

COVID-19による地域活動への影響

今回、COVID-19による各市町での地域リハビリテーション活動支援事業等の活動に対する影響の実態把握のために、圏域リハ及び各市町のリハネットワーク、行政担当者に聞き取りを行い、令和2年10月末現在で33市町から情報が得ることができました。

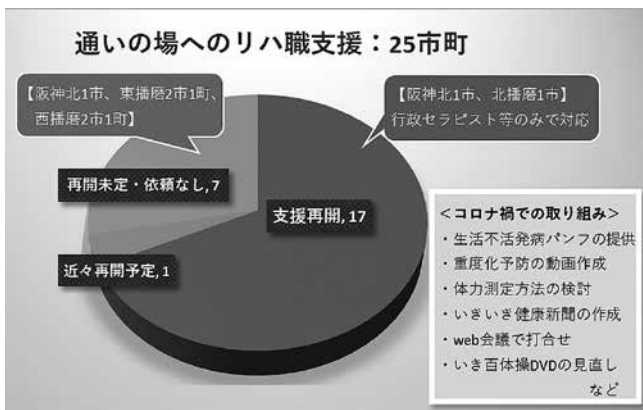
一般介護予防事業として住民主体で開催していた通いの場(いきいき百歳体操など)については、緊急事態宣言が出された4~5月の期間は、全県下で全面的に活動がストップしました。宣言が解除された6月以降、国や兵庫県から新しい生活様式に応じた通いの場再開のポイントが示され、地域差はあるものの各市町もそれに準じて通いの場自体は順次再開をしています。

しかし、これまで行っていた通いの場へのリハビリ

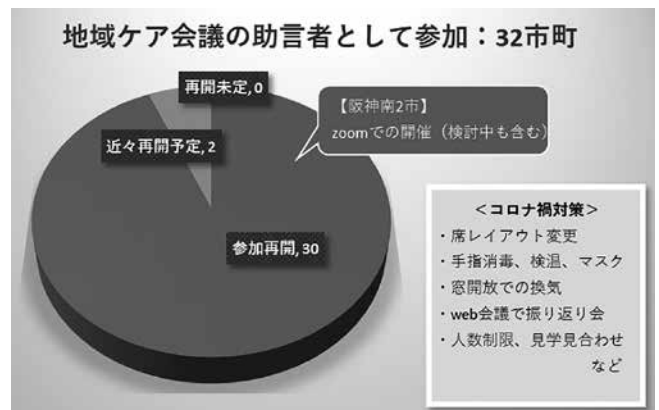
テーション専門職の派遣に関しては、昨年度と同程度までは再開していない地域も複数あり、リハビリテーション専門職への依頼の見合わせや、現地での活動時間の短縮や体力測定の見合わせ、公的な機関(行政、公社など)に所属するセラピストのみでの支援などで対応を行っている状況が確認されました(図③)。

また、リハビリテーション専門職側も、特に感染者が県内でも比較的多く発生している地域においては、所属の病院や施設からの出務の許可が下りず、事業に協力できる人員が限定されていることが課題となっています。

地域ケア会議においては、通いの場支援と違い特定の関係者のみで実施していることから、早期から再



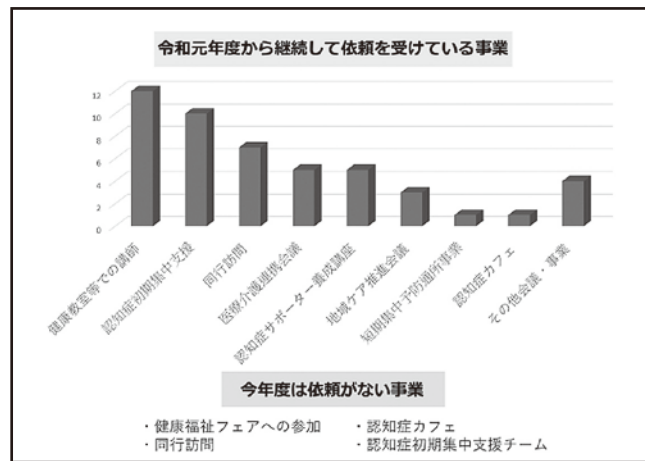
図③



図④

開している地域が多く、検温、消毒、換気、ソーシャルディスタンス確保等、感染対策を取るとともに、検討者以外の見学者を受け入れていた市町も今年度は受け入れを見合わせ、人数制限を設けて事業実施をしています。また、助言者としての参加については、出務許可の出していない病院・施設については、他の病院・事業所から出務者の調整をして対応しています。

その他の地域リハビリテーション活動支援事業でのリハビリテーション専門職の参画の再開状況は図⑤のとおりであり、概ね昨年度と同様に依頼が入っている状況ですが、市町によっては、事業自体を見合わせているところもあります。



図⑤

現状の課題と今後の展望

今回のCOVID-19による活動制限の影響で、虚弱高齢者のフレイルが進行していることが予測されますが、実際に高齢者の生活がどの程度どのような生活上の困りごとが増えているかなどの実態についてはまだまだ明らかになっていないのが現状です。

今後、徐々にこれらが明らかになっていく中で、高齢者の生活機能のアセスメントと自立支援に資するアプローチとして、個別のリハニーズが増えてくる可能性が予測されます。一方で、地域のネットワークでは、それぞれの職場でCOVID-19への対応に追われ、実際に協力できる人材の不足が起こってきており、これまでの地域リハビリテーション活動支援事業での関わりがそのまま同じように続けられるかどうか

も不透明な状況になっています。

兵庫県地域リハビリテーション支援体制としては、もう一度、各市町での現状の課題を整理し、各市町担当者と今後のリハビリテーション専門職の活用についての話し合いを行っていくことが必要であると考えます。また、今はCOVID-19の影響が目の前にありますが、そもそものこれからの人口減少の将来に向けて、自分たちの住む地域がどのようになっていくのか、地域に興味を持ち、地域リハビリテーションとしてできることをできる範囲で実践していくリハビリテーション専門職を増やしていくことがこれからの支援体制の役割と考えます。



創立 **46** 年

病院を母体とする医療の総合教育校

理学療法士科	作業療法士科
診療放射線科	臨床工学科
視能訓練士科	言語聴覚士科
臨床工学専攻科	

Since 1973 医療法人社団 慈恵会

KCC 神戸総合医療専門学校

〒654-0142 神戸市東灘区北沢7丁目1番11
TEL.078-795-8000 内線 TEL.078-795-8100 (人声)
http://www.kobecc.ac.jp

リハビリ訪問看護ステーション部 アスリートサポート部 ソーシャルメディア広報部

Steps

想いをカタチに

予防医療部 ウイメンズヘルス部 ICTサポート部

兵庫事務所 TEL 078-599-7990 FAX 078-330-3754
〒652-0033 神戸市兵庫区西上橋通 1-1-23 ヴィラ神戸 II 101

神戸西事務所 〒655-0013 神戸市垂水区福田 2-4-4 サン・リベラル 203

保健福祉部

コミュニケーションスキルアップ研修会

保健福祉部では、8月30日に人材育成のコンサルタントを手掛ける株式会社ガイアシステムの松村俊和さんを講師に迎え、「コミュニケーションスキルアップ研修会」を開催しました。

これまでは「形(正解)あるものをいかに正確に早くこなすことが求められてきたが、これからは形のないものを作っていくことが求められる時代へ変わっていく」とのことです。そのためには、『新しいことに挑戦してミスから学ぶこと』、『より確かな情報を聞き取りその場に合わせた処理を行うこと』が大切であると学びました。

今回の研修では、そのための身近な練習として、参加者同士で①他者との対話(異なる価値観を持つ者と分かち合う経験)、②自分との対話(自分の内側を見る体験)などのワークを行いました。

参加者からは、「これまで自分の内面に向き合う作業があまりなかったが、他者と伝えあうことで、改めていろいろな角度や視点に気づき、表現する方法もさまざまであることを学んだ」「コミュニケーションをとるにあたり、自身の感情に気づくことやそれを言語化し相手に伝えることの難しさや大切さを学んだ」などの意見をいただき、有意義な時間であったことがうかがえました。

本研修会は一方向的に聞いて学ぶのではなく、参加者同士で情報を受け取りあう体験を行うことが大きな特徴です。

コロナ禍における今年度は、初めてリモートで実施することにしたため、担当としては、参加者に狙い通りの学びを体験してもらえるのか非常に不安でしたが、研修開催までに部員同士で、また、講師と一緒に何度も何度もZOOMを使用しての打ち合わせを行うことで、大きなトラブルなく研修を終えることができ、達成感と安堵で一杯でした。

保健福祉部では、これからも新しいことに挑戦し、会員みなさんに役立つ研修を計画していきますので、多くのご参加をお待ちしております！

安部 則行(株式会社あべいすと)

研修部

研修会報告

2020年8月30日(日)に「ここまで変わった! 疼痛の治療革新-運動療法のポテンシャル-」をテーマに神戸学院大学の松原 貴子先生にご講演頂き、177名の方にご参加頂きました。

新型コロナウイルスへの対応の為、研修部としては初めてのZOOMを用いてのWebセミナーとなりました。オンラインでの3時間の研修でしたが、松原先生の楽しく人を惹きつけるご講演のおかげで、初めてWebセミナーを受けた方もリラックスして受講できたのではないのでしょうか。自宅から参加出来るということもあり、遠方にお住まいの方も多く、またお子様と同室で参加されている方もおられました。

ご講演は疼痛に対する最新知見や、急性痛と慢性疼痛への対応の違い、慢性疼痛に対する考え方や運動を用いてのアプローチなど多岐にわたりました。その中で、世界的に効果を上げている慢性疼痛の治療は運動療法であり、治療の第一選択として強く推奨されていること、また、適切な運動療法は副作用のほとんどない安全性の高い治療法として認められていると言うお話を頂きました。私たち、理学療法士が機能面だけでなく、社会面や情動面に十分に留意し慢性疼痛に対し関わることで、より高い効果が得られると感じました。

質疑応答はチャット機能や口頭質問で受け付け、普段の研修会以上に多くの質問が上りました。

今回、運営スタッフの準備不足により、スライドや音声トラブル等がありましたことお詫び申し上げます。今後も研修部主催のWebセミナーを随時行ってまいります。皆様のご参加をお待ちしております。

研修部

INFORMATION

こども生涯支援部公開研修会のお知らせ

こども生涯支援部では今年も公開研修会を開催する運びとなりました。

今年は動画配信での研修会となります。

今回は、ベトナムでの母子手帳作りをはじめ、発展途上国での支援に携わっておられる板東あけみ氏にご講演を依頼しています。海外(主にベトナム)での乳幼児に対する活動報告をはじめ、そこから考える日本の実態や課題、支援者に求められること等をお話しいただく予定です。動画視聴を希望される方は以下のメールアドレスまで申し込みをお願いいたします。

たくさんの方の申し込みをお待ちしています。

【講師】 板東 あけみ氏(母子手帳委員会事務局長・NGOベトナムの子ども達を支援する会事務局長)

【テーマ】 海外支援から考える社会モデルとしてのリハビリテーション

【配信期間】 11月下旬～12月初旬頃より開始し2週間程度

【申し込み期間】 11月16日(月)～12月6日(日)

【申し込み方法】 件名に「令和2年度公開研修会申し込み」と記載し、本文に①氏名、②ふりがな、③所属先、④理学療法士としての経験年数、⑤障害児(者)との関わった経験の有無、⑥⑤で「有」とお答えいただいた方はその年数を明記し、以下のメールアドレスまで送信下さい。

メールアドレス：**hyogo_pt_koukaikensyukai@yahoo.co.jp**

*申し込み後、受付確認の連絡をさせていただきますので、こちらからのメールを受信できるよう設定をお願いいたします。

地域ケア会議推進リーダー導入研修会のお知らせ

【日時】 令和2年(2020年)12月6日(日) 9:30～16:30(受付9:00～)

【開催方法】 WEB開催(ZOOMを利用)

【対象者】 兵庫県理学療法士会会員

【内容】 講義「地域包括ケアシステムにおける理学療法士の役割」
(講師：兵庫県但馬県民局 但馬長寿の郷 小森 昌彦氏)
講義・グループワーク「ICFを用いて自立支援の考え方を身につける」

【受講料】 無料

【定員】 先着50名

【申込方法】 日本理学療法士協会ホームページ マイページより申し込み下さい。

申込条件など詳細は、日本理学療法士協会HPと、兵庫県理学療法士会HP(10月2日付のお知らせ)をご覧ください。

【締め切り】 令和2年11月30日(月)

【お問合せ】 一般社団法人兵庫県理学療法士会 保健福祉部 大長 佳史 E-mail：pt_hfb@yahoo.co.jp



医療・福祉の仕事を通じて誰かの力になりたい。

その夢を叶える学校です。

神戸医療福祉専門学校中央校
【介護福祉学科】 【鍼灸科】 【理学療法士科】
〒475-0218 神戸市中央区東川崎町1丁目1番20号
【URL】 <https://www.knwc.ac.jp>

神戸医療福祉専門学校三田校
【理学療法士科】 【作業療法士科】 【言語聴覚士科】
【鍼灸科】 【福祉用具科】 【高齢者ケア科】
【保健福祉士科】 【福祉情報科】 【健康福祉科】
〒475-0393 三田市福原501-65
【URL】 <https://www.knwc.ac.jp>

姫路医療専門学校
【作業療法士科】 【言語聴覚士科】 【福祉工学療法士科】
【保健福祉士科】
〒672-0927 姫路市常盤町21番2号
【URL】 <https://www.hmc.ac.jp>

誰かに「してもらう」から
自分で「する」へ

介護事業分野

- ・通所介護
- ・訪問看護
- ・訪問介護
- ・居宅介護支援

調査・研究室

- ・社会や業界の情勢・動向調査
- ・新規企画・開発
- ・社内外へ啓発活動
- ・セミナー事業
- ・大学共同の研究活動

その他事業

- ・レストラン
- ・高齢者向け賃貸マンション
- ・就労支援
- ・児童発達支援・放課後等デイサービス
- ・アパレル事業

株式会社スイッチオンサービス
〒664-0006 兵庫県伊丹市西津路3丁目16-10
TEL: 072-772-3235

Switch On service

※入社は55歳まで

介護予防推進リーダー導入研修会のお知らせ

日本理学療法士協会では地域包括ケアシステムの推進のため、「地域ケア会議」「介護予防」の2つの施策に重点を置き、地域包括ケアシステムに関わることのできる人材の育成を行っています。多数のご参加をお願い申し上げます。

【日 時】 令和2年11月29日(日)9:00～16:00(受付:8:50よりルームを開場致します)

【開催方法】 WEB開催(Zoomを利用)

※当日使用するパソコン、タブレット、スマートフォンに、あらかじめZoomアプリをインストールしてください。

【内 容】 第1限 9:00～10:30

「介護予防・日常生活支援総合事業とリハビリテーション専門職の取り組みを知る」

(講師: 洲本市役所 畑山 浩志)

第2限 10:40～12:10

「介護予防事業の展開方法」～住民のやる気を引き出す5minプレゼンを作ろう～

(講師: 甲南女子大学 三栖 翔吾)

～昼休憩～

第3限 13:00～14:30

「介護予防の実践」～住民がやる!と決めたときの応援10か条を作ろう～

(講師: 三田市民病院 和田 真明)

第4限 14:40～16:10

「介護予防事業の企画立案」～通いの場の実践事例の紹介～

(講師: 介護老人保健施設サンライズ 松下 和樹)

【受講料】 無料

【対象】 日本理学療法士協会会員

※他府県の理学療法士会会員、兵庫県作業療法士会、兵庫県言語聴覚士会会員も受け付けます。

【定 員】 50名(先着順)

※研修会当日の出席確認はZoomミーティングルームにサインインして頂き、確認いたしますので参加者名は漢字・フルネームでの入力をお願いします。

【申込み】 日本理学療法士協会ホームページ マイページから(応募期間:10月1日～11月21日)

※本研修会に参加するためには、研修日の1週間前までに、e-ラーニングを修了または受講免除手続きを完了させてください。手続き完了のうえ、日本理学療法士協会ホームページのマイページから申し込みをしてください。

【お問合せ】 兵庫県理学療法士会 健康増進部 (担当:松下 和樹)

E-mail : hyogo.kenkouzoushin@gmail.com



～精鋭の教員陣による人間教育～

リハビリテーション学部
理学療法学科

神戸国際大学

リハビリテーション学部/経済学部
〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中9丁目1番9
TEL.078-845-3111(代表) FAX.078-845-3300



人にやさしい人になる

PHYSICAL THERAPY OCCUPATIONAL THERAPY SPEECH THERAPY
●理学療法学科●作業療法学科●言語聴覚学科●

KRC 関西総合リハビリテーション専門学校

E-mail krc@junshin.or.jp 〒656-2132 兵庫県淡路市志筑新島7番4
<http://www.krc-net.jp/> TEL.0799-60-3600 FAX.0799-60-3610

兵庫県で 活躍する 理学療法士

～数珠繋ぎ～

(株)アバンサール
門條 宏宣 氏



略歴

2009
関西総合リハビリテーション専門学校卒業
2009-2011
(現)順心リハビリテーション病院
地域リハビリテーションセンター
2011
神戸大学医学部保健学科卒業
2011-2013
吉田病院附属脳血管研究所
リハビリテーション部
2013-現在
株式会社アバンサール
2018
神戸学院大学総合リハビリテ-
ーション学研究科修士課程卒業
2019-現在
明石市介護サービス事業者連
絡会 通所介護部会会長

趣味

「今までに経験したことがないこ
と」に挑戦するのが大好きです

モットー

人生は楽しむためにある

私は明石市にいます(株)アバンサールの法人本部と研究所に所属しております。

私の中で、「一人で研鑽していても患者に有益なサービスを提供できない」という課題があります。逆説的に申しますと、自法人内・地域の関係事業所・地域住民と適切な連携を取ることができれば、患者・利用者に最適かつ最善のサービスが提供できると考えています。絵に書いた餅のように聞こえるかもしれませんが、私はこれを理想ではなく課題と捉えており、営利法人としてこの課題に取り組んでおります。

活動内容は、組織を継続的かつ安定的に発展させるためのマネジメントと学術活動、とにかく地域に出て関係作りをすること、地域の方々と自然にコミュニケーションが取れる仕組み作りをすること、などです。プロフェッショナルとして1対1の理学療法を提供すること以外にも、理学療法士が培ってきた知識・経験・思想は、地域リハビリテーションの発展に大きく貢献すると考えています。弊社は2030年までに、写真に掲載しているような地域を目標に掲げ、実践しています。

今回は、臨床に携わる理学療法士として、私が尊敬している伊丹恒生脳神経外科病院の久保宏紀先生をご紹介します。

表紙写真

現在、COVID-19の影響で高齢者の外出頻度が減り、フレイルが増加している中、地域リハビリテーションの働きが更に重要になってきていると感じています。そこで各地域の現状や取り組みをお聞きし、自分たちが生活している地域の現状や課題を知り、地域リハビリテーション体制を再認識するきっかけとして、今回、改めて兵庫県における地域リハビリテーション支援体制についての紹介とともに、介護予防分野におけるCOVID-19の県内の影響及び課題について理学療法士の安尾仁志氏にお話しいただきました。写真は兵庫県地域リハビリテーションセンターのスタッフ集合写真と兵庫県地域リハビリテーション推進会議の様子、地域における介護予防事業の様子。

県士会だより 第187号
発行

一般社団法人兵庫県理学療法士会

発行責任者/岩井信彦

編集者/前川健一郎

ホームページ

<http://hyogo-pt.or.jp/>



一般社団法人 兵庫県理学療法士会

兵庫県理学療法士会事務所 所在地

〒650-0012 兵庫県神戸市中央区北長狭通5丁目5-22 4階

TEL 078-367-7311